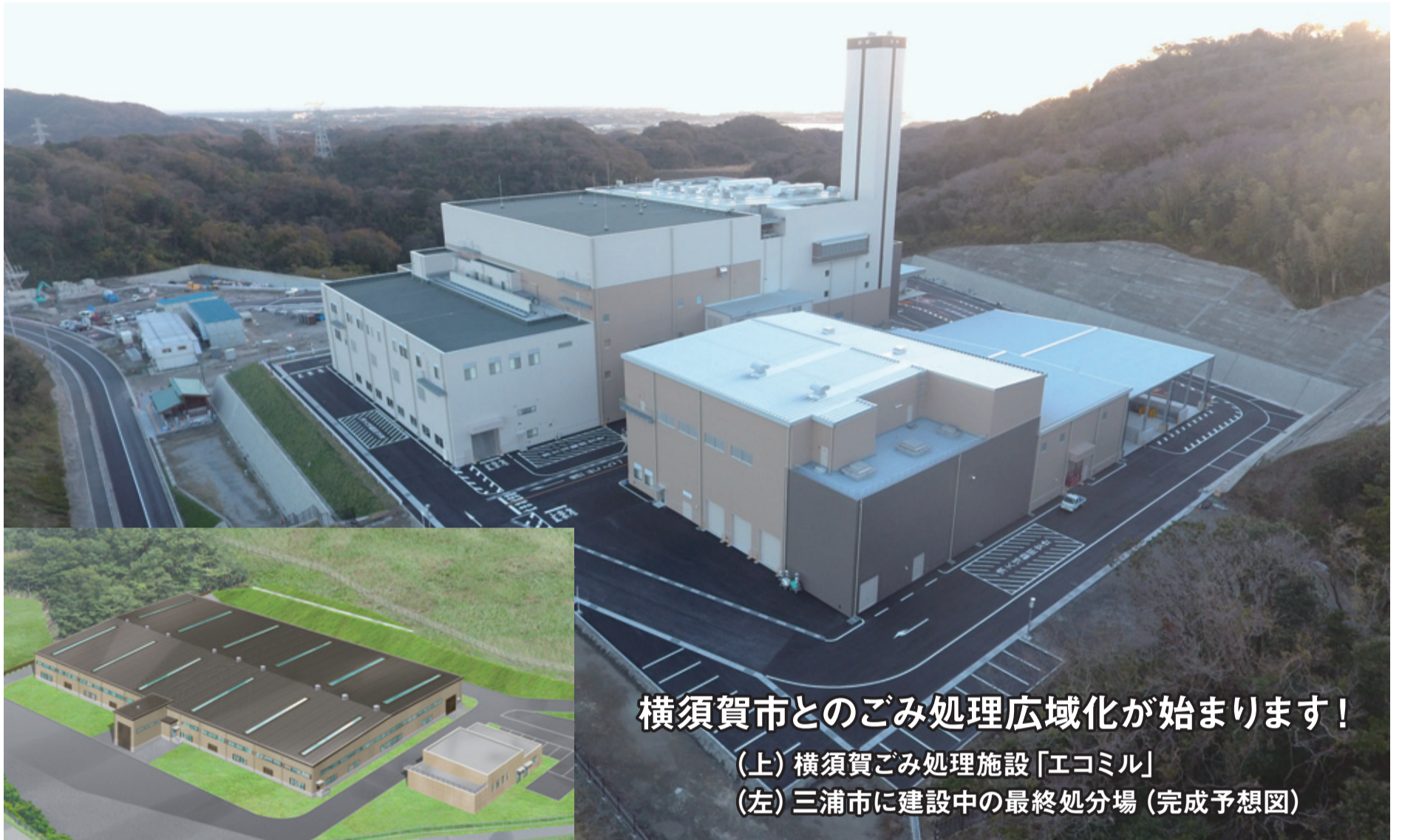




三浦市議会だより

第 140 号
 令和2年(2020年)2月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463



横須賀市とのごみ処理広域化が始まります！

(上) 横須賀ごみ処理施設「エコミル」

(左) 三浦市に建設中の最終処分場(完成予想図)

第4回定例会 都市計画マスタープラン改訂を可決 議員政治倫理審査会を設置

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
12月3日	火	本会議	会期の決定、一般質問
4日	水	本会議	一般質問
5日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
6日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
9日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
11日	水	三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会	三浦国際市民マラソン事業に関する調査
		選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会	三浦市選挙管理委員会の事務等に関する調査
12日	木	三浦市議会議員政治倫理審査会	正副委員長の互選
13日	金	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決)、追加議案の審議(説明・採決)、閉会中継続審査申し出、報告

令和元年第四回定例会は、十二月三日から十三日までの十一日間を会期として開かれました。

今定例会では、十六議案の審議を行いました。

また、十月五日、六日に開催した議会報告会について結果をとりまとめ、議会運営委員会で総括を行いました。(七面に掲載)

〈議会だより第140号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会	2面
政治倫理審査会	2面
1面写真の紹介	2面
陳情の審査	3面
一般質問	3～6面
行政視察報告	6面
議会報告会	7面
議案等の審議結果	8面
議会の活動から	8面
議会活動を見てみよう	8面
次回定例会の予定	8面

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

◎三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

◎三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

以上四件は、本市職員の給料・手当、会計年度任用職員の給料、特別職員及び市議会議員の期末手当について見直しを行うもので、一括して審査を行いました。
(質疑の主な項目)
・各議案の改正に伴う影響額について
意見 議員の期末手当引き上げについては、市政が困窮している中で合理的な理由が見出せない。また、まだ市内経済が上向いていないことから、市民感情的に受け入れられないと考えるため、議案に反対する。
◎三浦市債権管理条例の一部を改正する条例

本議案は、非強制徴収公債権及び私債権の延滞金の計算に係る割合について、法定利率の改正及び利率の変動制の導入に対応できるように改正するものです。
(質疑の主な項目)

都市厚生

◎三浦市都市計画マスタープランを定めることについて

◎三浦市公共下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例

◎三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例

◎三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

本市での非強制徴収公債権及び私債権に該当するものについて
・法定利率が下がることに伴う影響額について
・滞納を発生させないための取り組みについて
◎令和元年度三浦市一般会計補正予算(第三号)
本補正は、歳入歳出それぞれ三億三千六百二十三万円を追加するほか、繰越明許費の設定並びに債務負担行為及び地方債

の補正を行うものです。
(質疑の主な項目)
・ふるさと納税の状況について
・台風による市内の被害状況と市の対応について
意見 関連する予算が計上されている議員の期末手当引き上げには反対しているが、災害復旧など大事な事業が含まれているため、本議案に賛成する。
◎令和元年度三浦市市場

事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ二千八十五万六千円を追加するほか、繰越明許費の補正を行うものです。
(質疑の主な項目)
・災害復旧事業で修繕する箇所について



健康保険事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ百九十七万七千円を追加するものです。
(質疑の主な項目)
・社会保障・税番号制度システム整備補助金で実施する事業について
・マイナンバーカードの取得促進について

◎令和元年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ千八百九万六千円を減額するほか、継続費及び繰越明許費を設定するものです。
(質疑の主な項目)
・台風による被害の復旧について

◎令和元年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ四万三千円を減額するものです。
(質疑の主な項目)
・本議案に反対する理由

◎令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第三号)
本補正は、歳入歳出それぞれ千八百九万六千円を減額するほか、継続費及び繰越明許費を設定するものです。
(質疑の主な項目)
・本議案に反対する理由



◎令和元年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第二号)
本補正は、歳入歳出それぞれ四万三千円を減額するものです。
(質疑の主な項目)
・本議案に反対する理由

◎令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第三号)
本補正は、歳入歳出それぞれ千八百九万六千円を減額するほか、継続費及び繰越明許費を設定するものです。
(質疑の主な項目)
・本議案に反対する理由

三浦市議会議員政治倫理審査会

○政治倫理審査会とは
本市議会議員が三浦市議会議員政治倫理条例で定めた政治倫理基準に違反していると認められる場合、市民からの調査請求を受けたとき、または議長が必要と認めるときに政治倫理審査会を設置します。
審査会は、当該議員に政治倫理基準に違反する行為があったか等の審査を行います。その結果、違反があると認められた場合は、審査会から当該議員に対し、必要な措置を勧告することができます。

十二月十二日に、政治倫理審査会が設置され、「全員協議会及び選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会における石渡道臣議員の発言について」の審査を行うことになりました。
(審査会設置の経緯)
十二月十一日、選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会が開かれました。この委員会は、四月の市議会議員選挙の際に、選挙公報等に実際と異なる経歴を書いた候補者がいたことから、選挙管理委員会の事務等について調査を行うものです。なお、本件では全員協議会も開かれています。
委員会の席上、異なる経歴を記載していた石渡道臣議員に出席を求め、

一面写真の紹介

市議会議長の草間です。今回の写真は、十二月十二日に議会で視察に行きました。横須賀市長坂に建設された焼却施設「横須賀ごみ処理施設(エコミル)」です。
現在、進行している横須賀市三浦市ごみ処理広域化が本年三月から開始されます。この施設は十一月に完成し、現在は試験稼働をしており、三浦市のごみも既に搬入して焼却処分をしています。

三浦市では、最終処分場建設を進めており、間もなく完成する予定です。市民の皆様には、今年一月から開始されたごみ新分別や「ごみダイエツト大作戦」に協力していただき、引き続きごみの減量化・資源化を推進し、生ごみ水切り徹底！をよろしく願います。



横須賀ごみ処理施設を視察

※ コンセッション方式……料金収入がある公共施設について、市が所有権を有したまま施設の運営権を民間事業者へ長期間譲渡する方式

常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
総務経済	地方自治法に基づく特別調査委員会設置についての陳情書	審議未了
	小網代の森に建設が予定される真珠養殖場等に反対する陳情書	

新たに提出された陳情

- ◎小網代の森に建設が予定される真珠養殖場等に反対する陳情書
趣旨 本陳情は、表題の開発計画等が事実である場合、早期に是正することを求めています。
- ◎安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情書
趣旨 本陳情は、医療や介護現場での労働環境の改善、職員の増員、患者・利用者の保険料などの負担軽減、地域医療に必要な病床機能の確保について、国に意見書を提出するよう求めています。
- ◎介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情書
趣旨 本陳情は、介護及び看護職員の人員配置基準を実態に見合った水準に引き上げること等について、国に意見書を提出するよう求めています。
- ◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書
趣旨 以上二件の陳情は、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、私学助成の充実を図ることについて、国または県に意見書を提出するよう求めています。
- ◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書
趣旨 以上二件の陳情は、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき、私学助成の充実を図ることについて、国または県に意見書を提出するよう求めています。

陳情の審査に伴う経過をお知らせします

「小網代の森に建設が予定される真珠養殖場等に反対する陳情書」については、総務経済常任委員会が審査が行われ、その中で、陳情者が是正を求める開発計画等が事実と異なることが明らかになりました。また、この陳情が連本一朗議員のウェブサイト等を根拠にしていることが確認されました。

三浦市議会で昭和六十二年に可決された決議では、「虚偽をねつ造し、事実をねじまげて批判することは、民主主義の精神に反し、正義と公正を踏みにじる行為」であり、「事実に基づき公正、正義の立場で議会活動を行っていく」決意が述べられています。

事実と異なる情報を公表、また放置したことは、この決議にもとる行為であり、議会及び関係各所に迷惑をかけたとして、定例会最終日の本会議で連本議員が陳謝しました。

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。一般質問の記事(本文・写真)は、質問した議員が作成しています。



ごみ減量と資源化
子育て賃貸住宅、国保税均等割
日本共産党 石橋むつみ

質問 一月から新分別収集が始まる。今まで紙容器として資源回収されていた内側銀色紙パックは燃せるごみに出すとなった。この中にはテトラパックロゴの付いているものが幾つもある。ベルマークとして換算でき、その後紙資源としてリサイクルできるものをみすみす燃やしてしまうことになる。既に学校ではテトラパックを集めて送る道筋はできている。テトラパックを学校などの回収呼びかけて実践している。

都市環境部長 今後、市の広報紙やホームページでテトラパックを学校などの回収に出すことの周知を検討したい。

教育部長 既に一部の学校では積極的に保護者に呼びかけて実践している。



テトラパックロゴはいろいろなところに見つかる...

質問 一月から新分別収集が始まる。今まで紙容器として資源回収されていた内側銀色紙パックは燃せるごみに出すとなった。この中にはテトラパックロゴの付いているものが幾つもある。ベルマークとして換算でき、その後紙資源としてリサイクルできるものをみすみす燃やしてしまうことになる。既に学校ではテトラパックを集めて送る道筋はできている。テトラパックを学校などの回収呼びかけて実践している。

質問 子育て賃貸住宅等整備事業実施方針(案)公表までの庁内の連携について、子育て賃貸住宅等PFI事業審議会の今後の流れを問う。既存施設の建て替えの部分は現状に照らして機能的にも

質問 子育て賃貸住宅等整備事業実施方針(案)公表までの庁内の連携について、子育て賃貸住宅等PFI事業審議会の今後の流れを問う。既存施設の建て替えの部分は現状に照らして機能的にも

要望 子どもの均等割負担軽減は県内でも中井町など動きがある。全国市長会等と連携して、引き続き国庫負担割合の引き上げなど要望されたい。



上下水道について
Wi-Fi普及・拡大について
明日の三浦 石渡道臣

質問 下水道使用料収入の減少は、人口減少によるものなのか。また、赤字決算が続く、本年度中に資金不足が見込まれるとあったが水道事業の現状を聞きたい。

上下水道部長 下水道使用料収入の減少は人口減少が大きな要因と考えられる。水道事業においては、人件費を中心に削減を行ってきた。一般会計で不足を補わざるを得ない。料金の値上げを選択しない限りは、この状況を

質問 下流地区に整備する声地区を一括して整備することは財政状況下から困難である。令和七年度目指し検討することとなった。

上下水道部長 三崎、初声地区を一括して整備することは財政状況下から困難である。令和七年度目指し検討することとなった。

質問 令和二年度以降も一般会計から補填し続けているのは一般会計にも負担がかかると思うが、水道代の値上げはいつ頃行うのかお聞きしたい。

市長 市民生活への影響を考慮して、一般会計から補填する考えだが、いづれは値上げが必要と認識している。基本方針を定めて、その後、料金改定を行いたい。

質問 初声小学校の水道において赤い水が出るというのがあるが教育委員会としてどの様に対応していくのかお聞きしたい。

教育部長 改善には水道管全体を敷き直す工事が必要となる。令和二年度には長寿命化計画を作成する予定で、様々な改築修繕が行われることが想定されている。その中で、対応していきたい。

質問 総務省においても、Wi-Fiの環境促進をされている。三浦市としての考え方を聞きたい。

市長 Wi-Fiの環境の整備は観光客の受け入れの重要な手段であるので具体的にこれから検討していきたいと思う。

(一般質問の記事と写真は、質問者から提出されたものを掲載しています)



交通安全対策

来年度予算
無所属 寺田 一樹

質問 第二回定例会において、ブレーキとアクセルの踏み間違い防止装置の普及と設置の際の助成制度の創設を要望したが、その後の状況についてはどうなっているのか。

市民部長 国の制度などを注視しながら、交通安全施策の一環としての助成制度を含めた交通安全対策を検討していきたい。

都市環境部長 路面標示の補修は、横断歩道や停止線等の場合、三崎警察署へ情報を伝達して対応をお願いする。市が行うべき路面標示については、点検を実施し、緊急性の高い順に対応していく。

質問 予算編成方針では、来年度の財源不足額は、約五億七千万円と示されている。この不足額をどのように補っていくのか。

市長 引き続き財源対策検討委員会の検討を進めている。安全対策をどのように考えているのか。



かすれた路面標示



情報難民ゼロへ

防災行政無線・戸別受信機普及
公明・みうらクラブ 溝川 幸二

防災行政無線について
質問 市内に何カ所のスピーカーがあるか？

総務部長 百基である。

質問 防災無線が聞こえない等の意見は、防災担当に頂戴する事があるかと聞いている。

質問 総務省では「情報難民ゼロプロジェクト」を立ち上げたが、三浦市ではどう考えているか？

市長 近隣自治体とも緊密に連携し市民や観光客への安全・安心に向けて取り組んでまいりたい。



市内に100カ所ある防災行政無線拡声器

病院事業について



観光振興・中小企業支援
自由民主党 長島満理子

質問 三浦ならではの地域医療を目指している三浦市立病院である。厚生労働省から公立・公的病院四百二十四病院が再編成・統合等の再検証が必要な病院として発表された。病院の開設者である市長は、どうお考えか。

市長 今回の厚生労働省の発表はまさに寝耳に水といった感じが強いということである。高齢化が進む三浦市の地域医療の担い手は三浦市立病院であると考えている。現状の

質問 予算編成方針では、来年度の財源不足額は、約五億七千万円と示されている。この不足額をどのように補っていくのか。

市長 引き続き財源対策検討委員会の検討を進めている。安全対策をどのように考えているのか。

質問 三浦ならではの地域医療を目指している三浦市立病院である。厚生労働省から公立・公的病院四百二十四病院が再編成・統合等の再検証が必要な病院として発表された。病院の開設者である市長は、どうお考えか。

市長 今回の厚生労働省の発表はまさに寝耳に水といった感じが強いということである。高齢化が進む三浦市の地域医療の担い手は三浦市立病院であると考えている。現状の

質問 予算編成方針では、来年度の財源不足額は、約五億七千万円と示されている。この不足額をどのように補っていくのか。

市長 引き続き財源対策検討委員会の検討を進めている。安全対策をどのように考えているのか。



三浦市立病院

学校教育ビジョン



二町谷理立地、市立病院の存続
日本共産党 小林 直樹

質問 学校教育ビジョンでは、小学校と中学校が離れている施設分離型の小中一貫教育を推進することになっている。そのため、八校の小学校を五校廃校にして三校にしてしまおうのは、乱暴で無理があると言えませんか？

質問 二町谷理立地の売却(株)安田造船所と一昨年六月に基本協定を結んだ。十二月末日を目途に事業計画の作成と土地売買契約の締結等に向けて取り組んできた。しかし、浮き棧橋設置、事業計画作成、土地売買契約締結が遅れている。

質問 三浦市立病院の存続。厚生労働省は、市町村等が運営する公立病院に対し「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ病院名を公表した。三浦市立病院も、その中に含まれている。そして、九月までに対応策を決めるよう求めている。

市長 土地売買契約を先行して締結を行う予定である。浮き棧橋の設置と並行して、(株)安田造船所は、事業計画の精査等を行う予定である。

教育部長 施設一体型と施設分離型では、施設一

市長 土地売買契約を先行して締結を行う予定である。浮き棧橋の設置と並行して、(株)安田造船所は、事業計画の精査等を行う予定である。

市長 土地売買契約を先行して締結を行う予定である。浮き棧橋の設置と並行して、(株)安田造船所は、事業計画の精査等を行う予定である。

市長 土地売買契約を先行して締結を行う予定である。浮き棧橋の設置と並行して、(株)安田造船所は、事業計画の精査等を行う予定である。



存続が必要な三浦市立病院



安全安心な街作り

いじめ・国保・災害避難態勢
明日の三浦 蓮本 一郎

質問 神奈川県及び三浦市の小中学校においていじめの現状についてうかがう。

教育部長 平成三十年度県内のいじめ認知件数二万四千八百六十六件で五千二百六十九件増加。市内小学校三十一件、中学校三十一件、計六十二件、二十九年度三十八件、二十件、計五十八件より四件増加。積極的にいじめを認知し、早期対応することが定着してきたためと認識している。

質問 国民健康保険制度が変わり県と市が保険者となり、県が財政運営を担うこととなった。その効果をうかがう。

市長 国費三千四百億円が新制度に投入されたことにより、運営が安定してきた。

保健福祉部長 新たに国保事業費納付金と標準保険料率が導入された。三浦市では標準保険料率に準じて税率設定している。今後は医療費削減が重要になる。

質問 台風襲来時、防災無線が聞き取れなかったとの声があった。災害情報の周知と避難所の対応についてうかがう。

総務部長 防災無線の他に防災情報メール、視聴覚障害者用ファクス、更にＬＡＲＡＴ（災害情報共有システム）により、テレビ・ラジオを通じて情報伝達を行っている。津波からの避難では、近くの高台や高い建物、初声町入江地区であれば津波避難ビルに指定している。県営初声シーサイドタウンに一時的に避難する。台風などの浸水で初声市民センターへ行くのが困難な場合は、区民会館など、活用できる施設への

避難も視野に入れている。今後は民間施設も含めて複数の避難場所を確保するよう検討したい。

質問 開発許可の際に、防災の観点からの開発指導を行っているのか。

都市環境部長 市内のホームセンターや営農センター、家電量販店は三浦市まちづくり条例を適用して、消防防災施設の整備基準に従っている。この整備基準において、消防水利、消火活動整備基準、防災行政用無線受信施設の整備が規定されている。なお入江地区の三件の開発事業は同無線が聴取可能な範囲であるため同設備の新規設置を求めている。



大嘗祭の献上品

台風被害状況、空き家対策
自由民主党 出口 正雄

質問 天皇陛下のご即位に伴う宮中祭祀、大嘗祭に三浦の大根が献上された。農業に携わるものとして名誉と感しているが、市長の気持ちを聞く。

市長 三浦産の大根が平成の大嘗祭に引き続き庭積機代物として選ばれたことは、品質、さらに丹精込めて育てられた農家の熱意が認められたと大変光栄と感している。これを契機により多くの消費者のもとに届いておいしさを堪能していた

だくことにつながればと思う。全国各地の農協・漁協と一緒にPRに取り組んでいければと思う。

質問 今年は台風十五・十九・二十一号により、各地で大きな被害を受けた。三浦市内でも十五号で農作物や住宅などに大きな被害を受けた。

改めて農水産業、道路、護岸施設、住居など三浦市内の被害状況と、支援状況を具体的に聞く。

総務部長 農業関係では

補助の対象になる被害件数が百九十一件、被害金額は約二億五千八百七十七万円、漁業などは三十五件、道路の被害は二百七十件、住宅被害は二百十件、中小企業の被害は商工会議所と連携して調査を実施している。

支援状況は、農業では被害金額の十分の七が補助対象で、申請の受付は年明けから行う予定である。住宅被害は、全半壊で解体する家屋に対し県から補助金が支給される。中小企業の支援策は、県の財源で市町村が補助事業を実施するもので、補助率は復旧等に要する経費の三分の二、上限は一社につき二千六百六十



観光と今後の教育

観光振興と教育ビジョンの取組
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 昨年十一月三日に三崎下町周辺で、第三十六回三崎港町まつり、全三浦市サミット二〇一九 in 三崎朝市、第一回三崎木遣みこしパレードと三つの大きなイベントが同日開催された。このイベントの同日開催に至る経緯をお聞きしたい。また、二日、三日には城ヶ島大橋ライトアップ大作戦が実施された。今回新たに試みとして参加者募集や、城ヶ島西部のイベントとの連携など、今回

の取り組みとあわせてお聞きする。

市長 今回初めて、三崎木遣みこしパレードを開催したいと、三崎下町の有志の皆さんからお話が合った。その際に単独での開催より、長年親しまれているイベントに合わせれば、相乗効果を生むのではないかと、提案をさせていただいた。まず歴史と伝統のある三崎港町まつりが候補に挙がり、三崎朝市協同組合が創立三十年を迎え、全国朝市

サミットが三崎で開催されるお話もあり、三つのビッグイベントを同日開催する運びとなった経緯である。次に城ヶ島大橋ライトアップ大作戦について、新たな観光資源創出の夢のある取り組みだったと感じており、本年は地域振興イベントとして発展させるため、城ヶ島観光協会や京急電鉄などの支援をいただき実施されたところである。

質問 昨年八月、三浦市学校教育ビジョンが策定された。このビジョン推進に向けての取り組みと、一中学校区一小学校体制となることで目指す適正な学校規模、なぜその学校規模が必要なのか、教

育長のお考えをお聞きする。

教育長 三浦市学校教育ビジョンでは学校教育の充実と、教育の質の向上を目指し一中学校区一小学校体制のもと、小中一貫教育を推進する。教育の質の向上を目指すには、児童も教員も一定集団規模を確保し、一学年複数学級が設置できる規模が必要であると考えている。ビジョン推進は三浦の子供たちの明るい未来に資するものと考え、関係する皆様のご理解ご協力をいただきながら、教育委員会一丸となって、ぜひともなす遂げていきたいと強く考えるところである。



あったかいまち

教育・みこしパレード・海環境
自由民主党 神田 眞司

質問 学校教育ビジョン小中一貫教育の推進に関して市民を巻き込んだ議論が不足している。市民の疑問に答え、真摯に市民意見に耳を傾け、学校教育ビジョンが目指すものを説明する機会を設ける以外にないかと考えるが。

教育部長 地区ごとなど一定の規模で説明会を開催すると、いろいろな学校に関係する方の意見を聞いて参加者に総合的に判断してもらえると考える。そのため現在、説明

時に使用する新たな資料作成に取りかかっている。

質問 みこしパレード市民の熱い思い、志で結果にしたい。市民の熱い思い、志で結果にしたい。市民の熱い思い、志で結果にしたい。市民の熱い思い、志で結果にしたい。

我がまち三浦市のすばらしさ、よさを住民の皆様が再認識する絶好の機会であった。市長の率直な感想を伺う。

市長 三崎下町の有志が集まり、熱い思いをイベントという形で結集させ本市で初めてのイベントは大成功であった。私自身も期待している。

質問 海洋プラスチックごみとマイクロプラスチック

海の恵みを受ける三浦にとって豊かな海をこれからも守っていくためには漂着した海洋ごみだけでなく、漁業活動に伴って引き揚げられたプラスチックを含む海洋ごみの回収や処理が大変重要である。財政的措置について伺う。

市長 漁業者が行う海洋ごみの回収・処理に係る

身も大変感動した。今後身も市内の多くの地域でこうした市民の皆さんの熱い思いを結集した動きが出てくるということは大変素晴らしい。市としても期待している。

財政措置については、環境省の令和二年度予算要求に盛り込まれ、回収された海底・漂流ごみの処理を行う場合、都道府県を通じて一千万円を上限に補助する制度の創設を予定。

ごみとマイクロプラスチック

回収や処理が大変重要である。財政的措置について伺う。



庄巻の一斉みこし納め



SDGsの推進 子育て賃貸住宅等整備事業 公明・みうらクラブ 藤田 昇

※は欄外に説明を記載

質問 SDGs(持続可能な開発目標)について三浦市においても、第四次三浦市総合計画、三浦みらい創生プラン実施計画においてSDGsの十七のゴールに関連する地方創生の取組みなど具体的な目標を掲げて取り組んでいる施策が多くある。そこで、具体的にSDGsの取組み推進として市民や職員にもSDGsについての意識づけを行うため、まず、市の取組み目標とSDGsの目標との関係性を明確にすることが必要であると考え、来年度は三浦みらい創生プラン実施計画の改定作業を行う年度であり、三浦市として具体的なSDGsのアクションプランを掲げ推進することを提案するが、市長の所見を伺う。

市長 SDGsの目標、これは既に三浦市が取組んでいる目標と重なるものも多い。三浦市の目標達成に向けて取組むことでSDGsに寄与するものであると考える。市として、SDGsを推進するに当たり、市民の皆様にもSDGsを知ってもらい、職員にSDGsのさらなる意識づけを図るためにも環境を見える化するということには有効であると感じている。藤田議員のおっしゃるとおり、来年度は三浦みらい創生プラン実施計画の改定作業を行う年度であり、当該実施計画の取組み目標とSDGsの目標の関係性を明示し、その方法を具体的に検討していきたいと思う。



三浦の観光振興 二町谷埋立地・災害時情報伝達 自由民主党 出口 眞琴

質問 三浦市は三方を海に囲まれ、マリンスポーツイベントには好条件の立地条件にあり、子供たちからお年寄りまでみんなが参加できるマリンスポーツイベントを活用した誘客の取り組みについて市として考えるのか。

経済部長 海の魅力を体感していただけるマリンスポーツイベントを地域の活性化につながることは有効な手段と考えており誘客につながる取り組みは今後も継続して支援して行きたい。

質問 回遊性の向上について三崎港町まつりの際行われたシーステーション・クルーズの状況・結果・今後について伺う。

水産担当部長 往路、復路ともにほぼ満員と大変好評であった。アンケートでは三崎港から油壺方面の渡船ができた乗船したいが約八〇%と最も多く、観光資源になり得る可能性を示す結果が得られた。実施結果を検証し、今後の展開について

のであると考える。市として、SDGsを推進するに当たり、市民の皆様にもSDGsを知ってもらい、職員にSDGsのさらなる意識づけを図るためにも環境を見える化するということには有効であると感じている。藤田議員のおっしゃるとおり、来年度は三浦みらい創生プラン実施計画の改定作業を行う年度であり、当該実施計画の取組み目標とSDGsの目標の関係性を明示し、その方法を具体的に検討していきたいと思う。

質問 子育て賃貸住宅等整備事業について、地元企業の参画については本事業における施設整備及検討していきたい。

質問 二町谷地区海業振興の多目的用地の浮き桟橋の設置と北公園の管理権限の移譲についての協議について伺う。

政策部長 みうら漁業協同組合との協議は浮き桟橋の設置位置や規模など具体的な数値を示して協議を行った。北公園については県との協議では管理事務委託の内容など協議はおおむね順調に進んでいる。

質問 土地売買契約の議案提出期限について伺う。

市長 土地売買契約の基本協定において十二月末日を目途として定めている。協議が調い次第、仮契約を議案提出する考え

び運営における効率的な推進と活気に溢れる地域経済の実現にも繋がることから、ぜひ促進して頂きたい。鹿屋市の事例に地元企業の参画を促すために事業者の公募に当たり、地元企業の参加を加点評価する等の取組みを行っている。本事業においてもこれから公募を進めていく中で、地元企業の参画を促す具体的な取組みが必要と考えるが、市のお考えを伺う。

総務部長 本事業はSPCの構成企業や協力企業にかかわるさまざまな形での地元企業の参画は地域経済の観点からも必要なものというふうに捉えている。

質問 台風の影響により市内全域停電が発生した行政・事業所・地域が連携し災害情報のシステムを構築できないか伺う。

総務部長 台風の際に一部の区の役員さんが情報を取りまとめ、市に提供していただいたという事例もあり、このような取り組みは状況の効率的な把握に資するものと考えている。



マリンスポーツイベントの様子

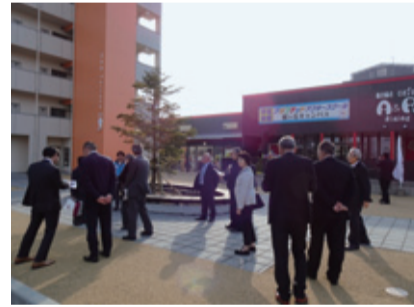
行政視察報告

総務経済、都市厚生、議会運営の各委員会が、先進的な取り組みをしている自治体の視察を行いました。また、本市を訪れた議会は、左下の表のとおりです。

総務経済常任委員会

十一月二十一日(二十一日)、鹿児島県鹿屋市と南九州市を委員と議長で訪問し、視察を行いました。

一日目は、都市厚生常任委員会と合同で鹿屋市役所を訪問し、「PFI(公民連携)による子育て支援住宅の整備」について説明を受けました。公民連携事業の導入経緯や従来型公共事業との比較、長期収支計画書を参考に子育て支援住宅の運営についての具体的な手法などを学び、運営中の建物も見学しました。



都市厚生常任委員会

十一月二十一日(二十一日)、鹿児島県鹿屋市と南さつま市の視察を行いました。

鹿屋市には、総務経済常任委員会と合同で訪問しました。概要については、総務経済常任委員会の記事をご覧ください。南さつま市では、市立坊津学園を訪問し、小中一貫教育の現状や成果、課題などを伺いました。小中学校再編時の保護



議会運営委員会

十一月五日(六日)、岐阜県可児市と関市の視察を行いました。

可児市では、可児市議会でを行った議会改革について話を伺いました。高校生議会の開催や、各種団体との懇談会など、議会の情報公開と市民参加の推進のための、さまざまな取り組みを学びました。

関市では、議会でのタブレット端末の導入について、実際にタブレット端末を活用している議員



本市への行政視察(平成31年1月~令和元年12月)

昨年、三浦市を行政視察で訪れた議会は次のとおりです。

No.	月日	市・町名	視察事項
1	1月23日	沖縄県宮古島市	城ヶ島区営の海上釣堀について
2	2月6日	滋賀県野洲市	市立病院経営形態の見直しについて
3	7月23日	石川県穴水町	議会改革について
4	10月2日	北海道七飯町	契約事務の一元化、効率化について
5	10月24日	山口県萩市	市立病院の経営改善の取り組みについて
6	11月8日	佐賀県有田町	「移住までのプロセス又移住を決意した決め手」、「移住者受入連携企業」について
7	11月12日	鳥取県境港市	誘客プロモーション事業について

※ SPC……特別目的会社の略称。PFIでは、従来は市が計画してから、民間にばらばらに発注していた公共事業(設計・建設・監理等)を一括して受注するため、複数の事業者が事業を実施するための特別目的会社を設立する

議会報告会を開催しました

令和元年十月五日、六日の二日間にわたり、市内三地区で議会報告会を開催しました。

共通テーマ「ごみ処理について」の報告のほか、会場別テーマを定め、テーマに関係する方々とのディスカッションや意見交換を行いました。各地区の開催結果は次のとおりです。

三崎地区

開催日：十月五日(土)
会場：市役所議場
対象者：市内在住の
 中高生
参加人数：十人
(ほか傍聴八人)

会場別テーマ 三浦の魅力再発見

○三浦市の魅力ある名所や地域の祭りなど、余り知られていないけれど紹介したいものについて、三グループに分かれてディスカッションを行い、結果を発表していただきました。



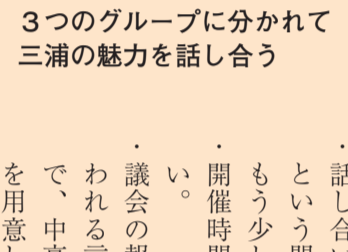
・初声地区では、わんぱく相撲やマラソンなど、初声地区ならではの魅力があると思う。



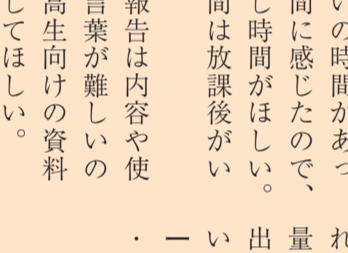
・三崎地区では、マグロや大漁旗などの伝統工芸がある。



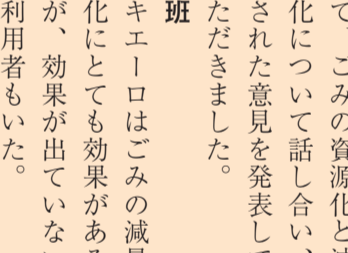
・南下浦地区の菊名の鮎屋踊りは、県の無形民俗文化財に指定されている。定期的に鮎屋踊りを行っている地域は全国でも菊名地区くらいだと思う。



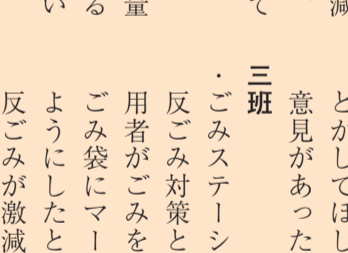
・海にゴミが多く、せっかく観光に来てても、汚れた海では台無しになる。海のごみを減らすことが必要。また、観光客がゴミを捨てていくことがあるので、啓発ポスターなども必要だと考える。



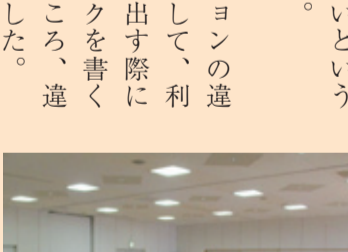
・南下浦地区では、公園ブルームグループ



・初声地区では、初声っクリームグループ



・三浦の魅力を知ってもらうためには、富士山を見ることができ、空気がきれいでも水もおいしく、環境がいいことが魅力だと思える。



・三浦の魅力を知ってもらうためには、富士山を見ることができ、空気がきれいでも水もおいしく、環境がいいことが魅力だと思える。



3つのグループに分かれて三浦の魅力を話し合う



議場での発表の様子

アンケートから

・市議会の方の意見やお話をお聞きして、たくさんのお話を聞くことができた。

・話し合いの時間があつたという間に感じたので、もう少し時間がほしい。開催時間は放課後がいい。

・議会の報告は内容や使われる言葉が難しいので、中高生向けの資料を用意してほしい。

南下浦地区

開催日：十月五日(土)
会場：市民交流センター
対象者：三浦市老人クラブ
参加人数：十六人
(ほか傍聴一人)

会場別テーマ シニアの健康づくり

○質疑応答
参加者：元気アップ教室の参加希望者が多く、参加できない人がいるので、会場やコースをふやせないか。

定としている。参加者：新聞で三浦市立病院と横須賀市立市民病院が統合されるといふ記事があり、不安を感じている。議員：まだ厚生労働省が発表したという段階で、具体的にはこれからの話になる。三浦市の拠点病院として、市民の命と健康を守り、三浦ならではの地域医療を図っていくべきだと考える。



議会からの報告の様子

・参加者：グラウンドゴルフの利用料金が徐々に高くなっていく。何とかならないか。議員：後日、運営している指定管理者に確認したところ、施設の老朽化で

初声地区

開催日：十月六日(日)
会場：潮風アリーナ
対象者：廃棄物減量推進員及びキエー一口モニター体験者等
参加人数：二十六人
(ほか傍聴一人)

会場別テーマ ごみの資源化と減量化

○三つのグループに分かれて、ごみの資源化と減量化について話し合い、出された意見を発表していただきました。

・キエー一口はごみの減量化にとっても効果があるが、効果が出ていない利用者もいた。

・ホテルのバイキングなどで料理が余ると大量に廃棄することになる。ごみの減量化対策として取り組みが必要。

・いろいろな意見を聞くことができてよかった。ごみの資源化について改めて考えさせられた。グループ討議は議会報告会には合わない。内容等について事前の連絡が必要。

・アンケートから
いろいろな意見を聞くことができてよかった。ごみの資源化について改めて考えさせられた。グループ討議は議会報告会には合わない。内容等について事前の連絡が必要。



ごみの減量化について意見交換



次回に向けて改善点を検討

議会報告会の総括

議会報告会開催後は、議会運営委員会において、委員以外の議員も出席して、全議員で議会報告会の総括を行いました。

総括では、各地区を担当した班の代表者から開催結果の報告を行い、その後、意見交換を行いました。

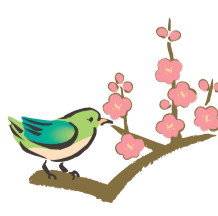
その中では、開催時期や時間帯の検討が必要ではないか、共通テーマは対象者に合わせて内容を変えてはどうかといった意見が出されたほか、議会報告会の趣旨について、事前に対象者へ丁寧に周知をしていくことが確認されました。

また、今回のアンケート結果や反省点を踏まえ、議会報告会のあり方について検討していくこととなりました。



次回に向けて改善点を検討

◎各地区の報告書やアンケートの集計結果などは、三浦市議会ウェブサイトでごらんいただけます。



本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】	第65号 三浦市都市計画マスタープランを定めることについて	第72号 三浦市公共下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例
	第66号 三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	第73号 三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例
	第67号 三浦市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	第74号 令和元年度三浦市一般会計補正予算(第3号)
	第68号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	第76号 令和元年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
	第69号 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	第77号 令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
	第71号 三浦市債権管理条例の一部を改正する条例	第78号 令和元年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第2号)
		第80号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ			日本共産党		明日の三浦		無所属
			草間道治	長島満理子	出口正雄	神田真弓	出口真琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	石渡道臣	蓮本一朗	寺田一樹
【議案】 第70号	三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
第75号	令和元年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
第79号	令和元年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○

※議長は表決に加わらない

議会を傍聴しませんか

令和2年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
2月20日	木	招集告示
25日	火	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
28日	金	本会議(施政方針)
3月2日	月	本会議(一般質問)
3日	火	本会議(一般質問)
4日	水	本会議(一般質問)
5日	木	総務経済常任委員会
6日	金	都市厚生常任委員会
10日	火	予算審査特別委員会
12日	木	
13日	金	
16日	月	
17日	火	
18日	水	三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会 選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会
24日	火	本会議(委員長報告・採決)

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月21日(金)です。



三浦市議会ウェブサイトはこちらから
議会の日程、会議録、議会インターネット中継など、議会に関する情報がご覧になれます。

議会の活動から

▼現地視察を行いました(十二月十二日)
令和二年三月からの横須賀市とのごみ処理広域化に向けて建設された、横須賀ごみ処理施設(エコミル)を議員全員で視察し、担当職員より説明を受けました。
この施設では、本格稼働に向けて試運転が行われています。
収集されたごみは、施設内のごみピットと呼ばれる所へ搬入されます。その中で、大型クレーンにより何回も混ぜられた後、焼却炉へ移動します。二十四時間運転で処理が進められます。
この日は、巨大なごみピット内には十メートルのごみが積み上がっていました。ごみを正しく分別すること、また、ごみを増やさない心がけも大切であることが実感できました。

▼令和元年台風第十九号に伴う災害に対する義援金について
台風第十九号による広範な地域に及ぶ甚大な被害に際しましては被災された皆様方に心からお見舞い申し上げますとともに、早期に復旧されますことを、謹んでお祈り申し上げます。
この復旧に、三浦市議会として少しでもお力添えができないか、各派代表者会議において協議を行い義援金を送ることを決定しました。
先日、全議員から集めた義援金を全国市議会議長会が開設した災害義援金口座へ送りました。



三浦市議会の本会議、委員会は自由に傍聴することができます。ぜひ、実際に議会の様子をごらんになってください。
団体、グループでも、お気軽にお越しください。
十二月定例会では、三浦市明るい選挙推進協議会の皆さん(十八人)が本会議を傍聴されました。



議会活動を
見てみよう